

本年4月14日と16日の両日に最大震度7の地震が熊本県を中心に発生しました。この度の地震で犠牲となられた方々へお悔やみを申し上げます。また、家屋の倒壊などにより今も避難生活を余儀なくされている方々へお見舞い申し上げます。

今回の地震では、私達が経験したことのないことが起こりました。1度の大きな地震の後には余震のみしか起こらないという今までの経験は覆され、最大震度7の地震が2回も起こりました。これにより、1度目の地震で何とか持ちこたえていた家屋が2度目の地震で倒壊し、被害が拡大する要因となりました。

その後は避難所が各所に設置され、それに伴い熊本県内外から多くのボランティア希望者が集まったと聞いています。4月22日に開設された熊本市の災害ボランティアセンターでは、最大約1300人の希望者が参加した日もあったそうです。

また、今回の地震後には東京都銀座にある熊本県のアンテナショップで、普段の何倍もの売り上げを記録した日が続きました。被災地に直接出向くことは出来なけれど、アンテナショップで熊

「支援の輪を繋げよう」

本県産の農産物や郷土品を買うことで間接的にでも支援をしたい、そう考えた人々が長蛇の列を作りました。アンテナショップに熊本県のキャラクター、くまモンが登場すると、握手や励ます人の中には、感極まって泣き出す人の様子がテレビで放映されていました。

地震の発生から約6カ月が経とうとしています。被災地から遠く離れて生活する人達からは徐々に地震の記憶が薄れがちですが、現地では救急的な対応を終え、復興に向けた取り組みが本格的に始まっています。

直接的・間接的と支援の方法は多様です。今回の地震では以前からの教訓を生かし、被災地へ様々な方面から支援が寄せられています。復興に向けて私達もそれぞれ今出来ることは何かを考え、支援の輪を繋げていきたいものです。

*このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

■問い合わせ

人権啓発広報委員会

☎ 880・6569